

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成 28 年度／大手民鉄 16 社)

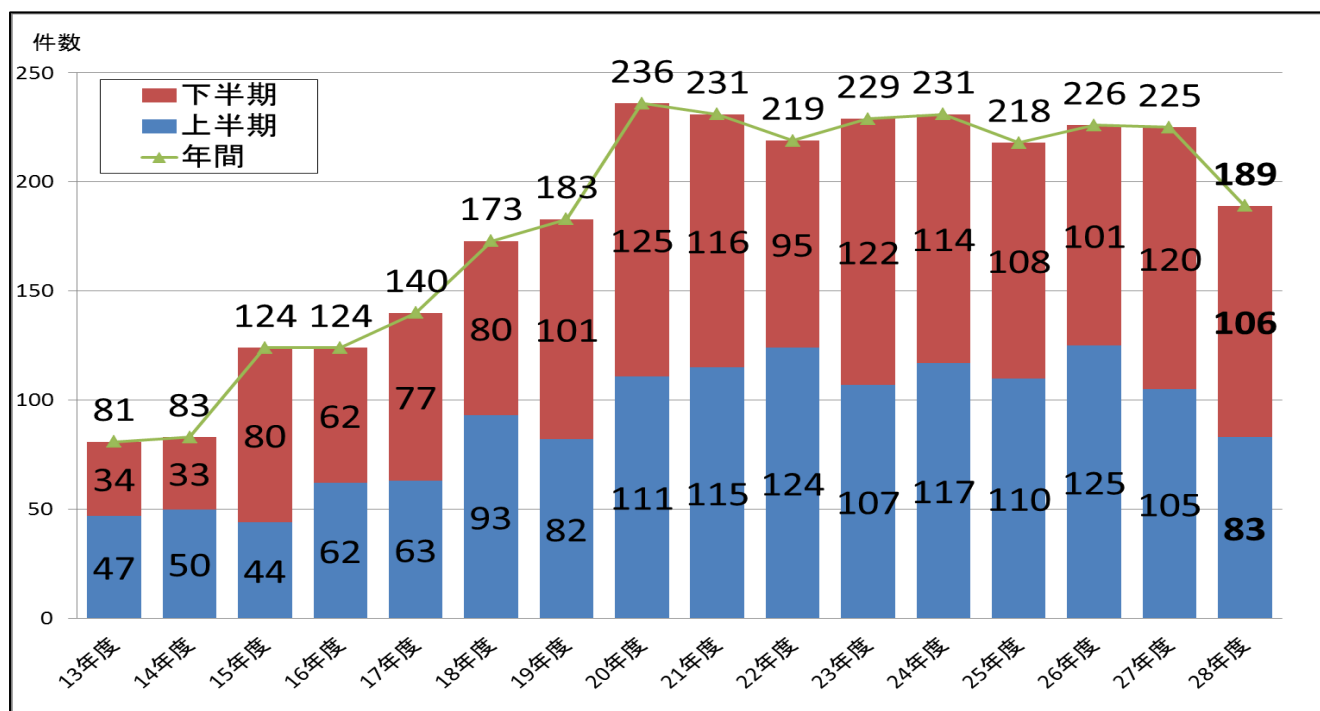
日本民営鉄道協会では、大手民鉄 16 社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は 189 件（上期 83 件、下期 106 件）と、前年度に比べて 36 件減少し、平成 19 年度以来 9 年ぶりに 200 件を下回りました。

暴力行為が減少した要因については、全国の鉄道事業者による啓発ポスターの掲出、警察官の巡回や警備員の配置、駅係員の研修等の取り組みが浸透するとともに、報道機関等を通じて鉄道係員に対する暴力行為が発生している現状についてお客様に認知されたことが大きく寄与したものと考えられます。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が酩酊されたお客さまに近づいた時や理由なく突然に行われるケースが多く、時間帯については深夜帯（22 時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



（ご参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

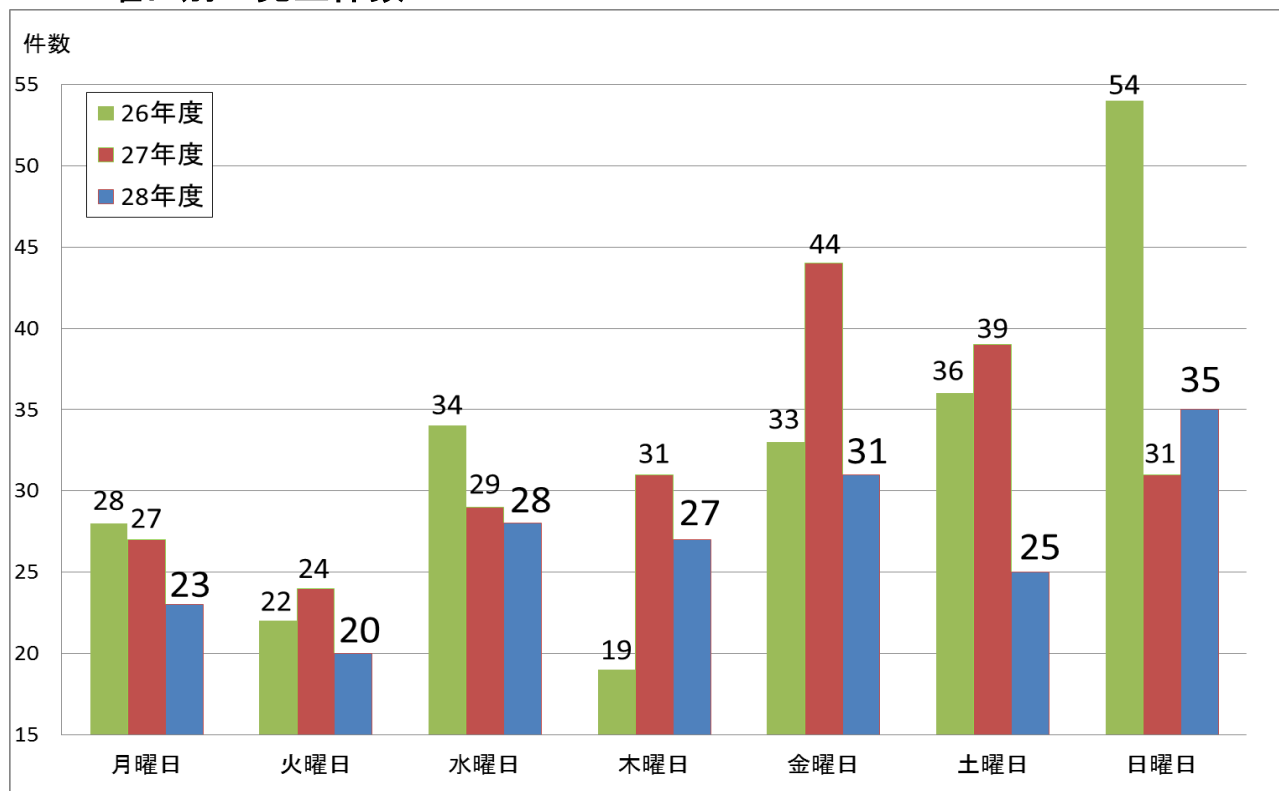
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています

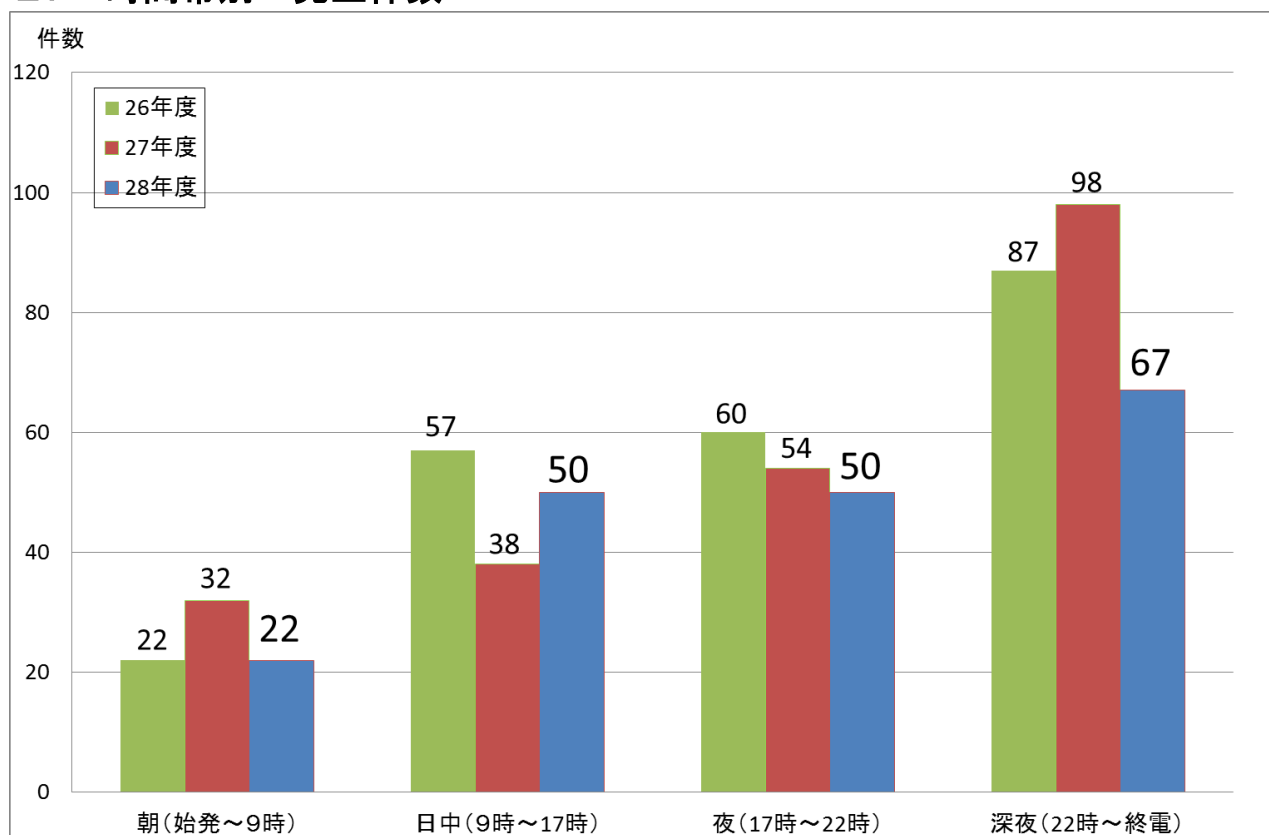
国土交通記者会・ときわクラブ・東海交通研究会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ・福岡経済記者クラブ

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

1. 曜日別 発生件数

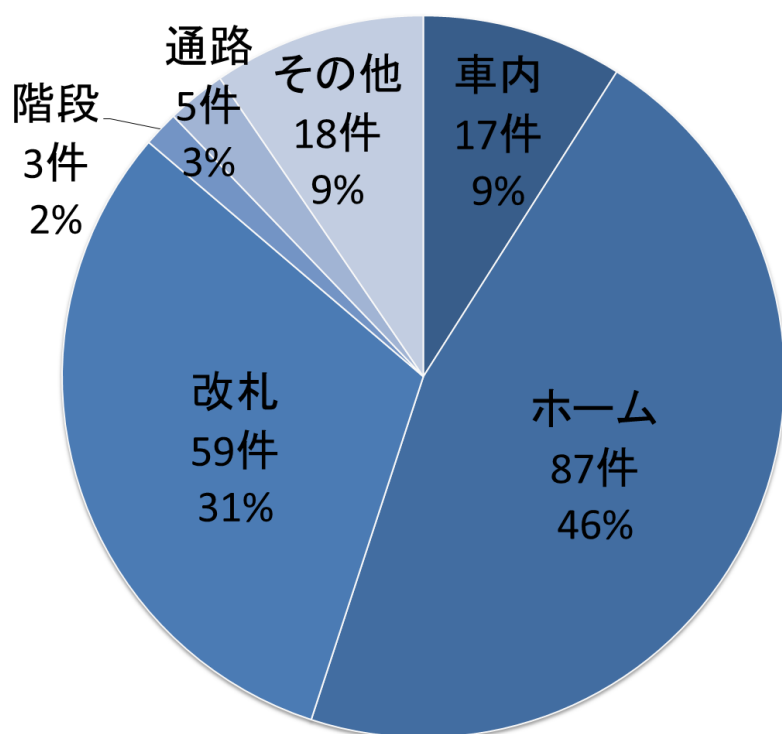


2. 時間帯別 発生件数

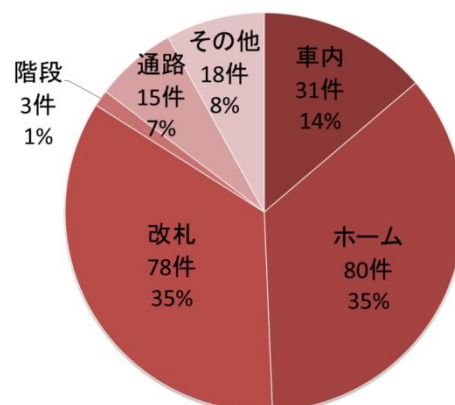


3. 主な場所別 発生件数

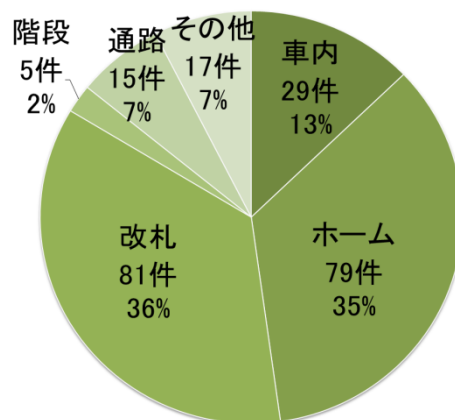
28年度



27年度

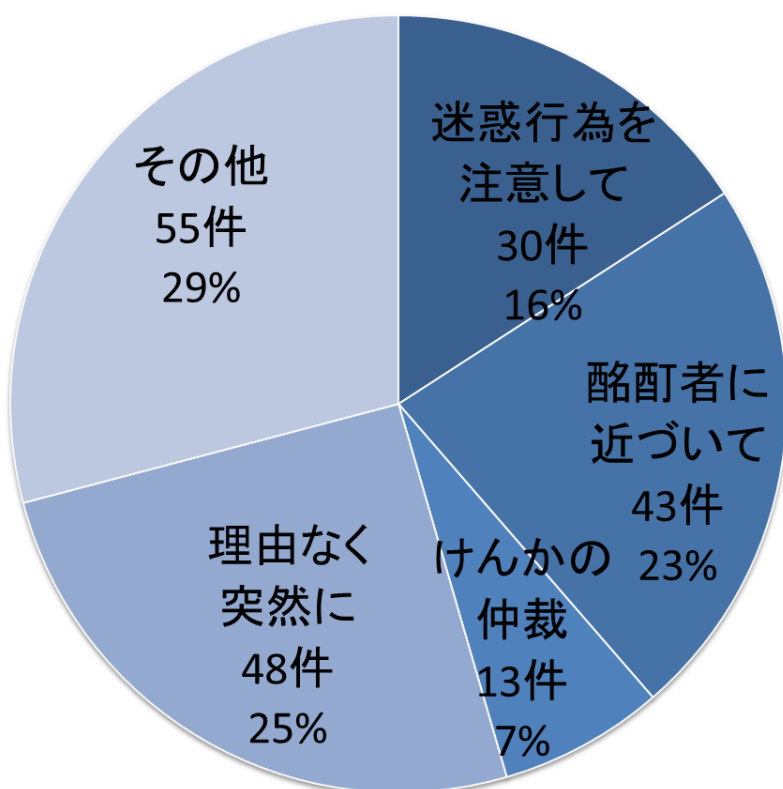


26年度

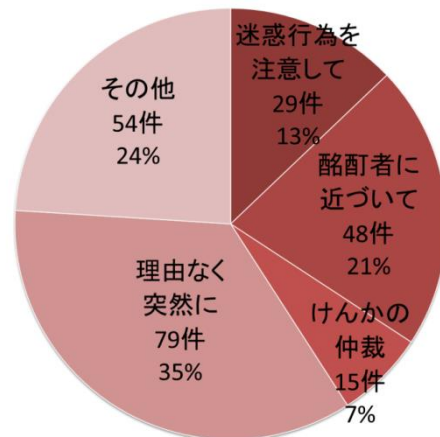


4. 主な契機別 発生件数

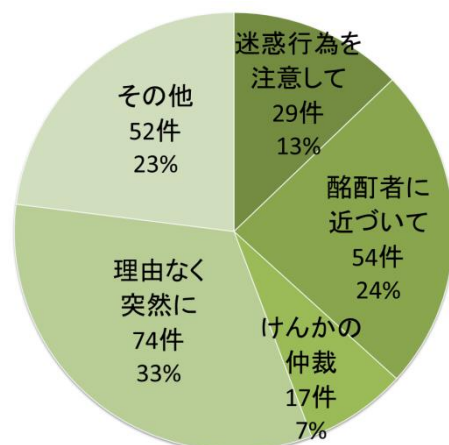
28年度



27年度

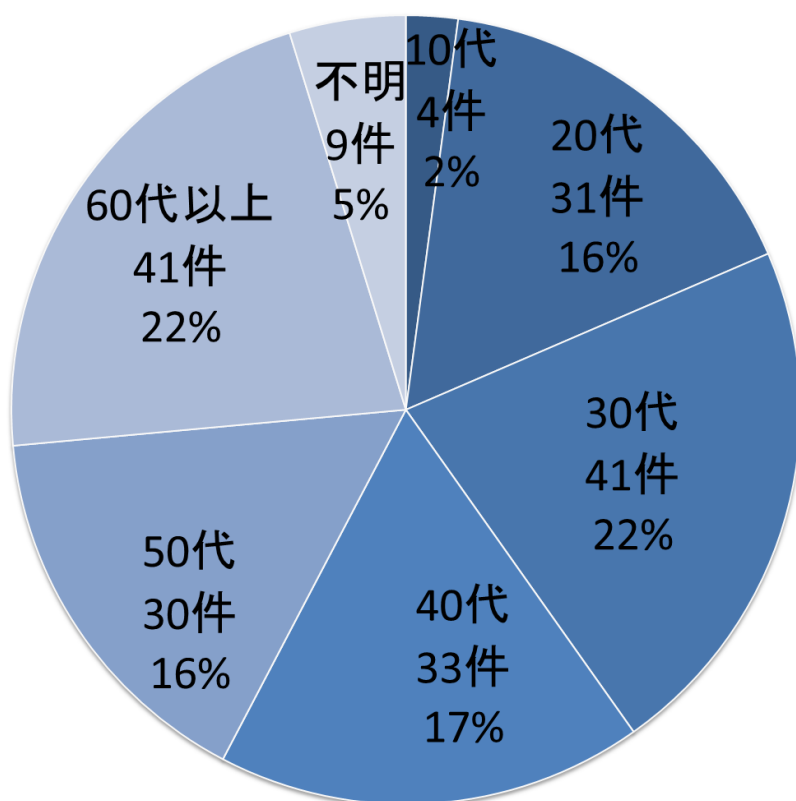


26年度

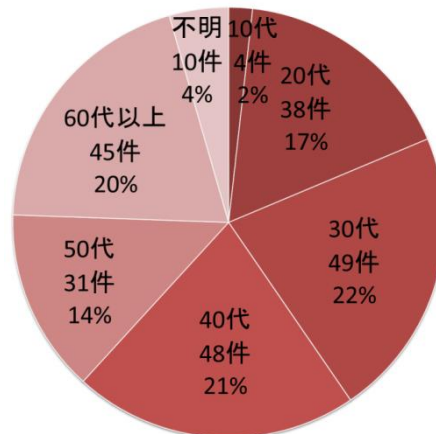


5. 加害者年齢

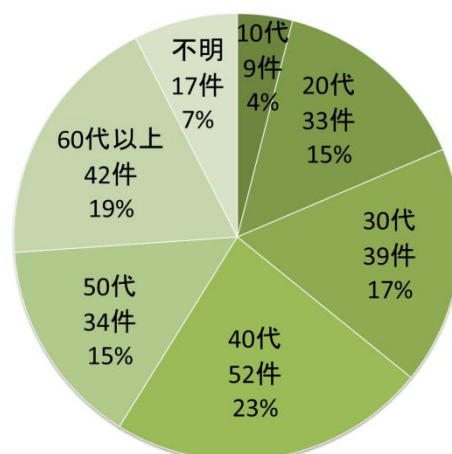
28年度



27年度

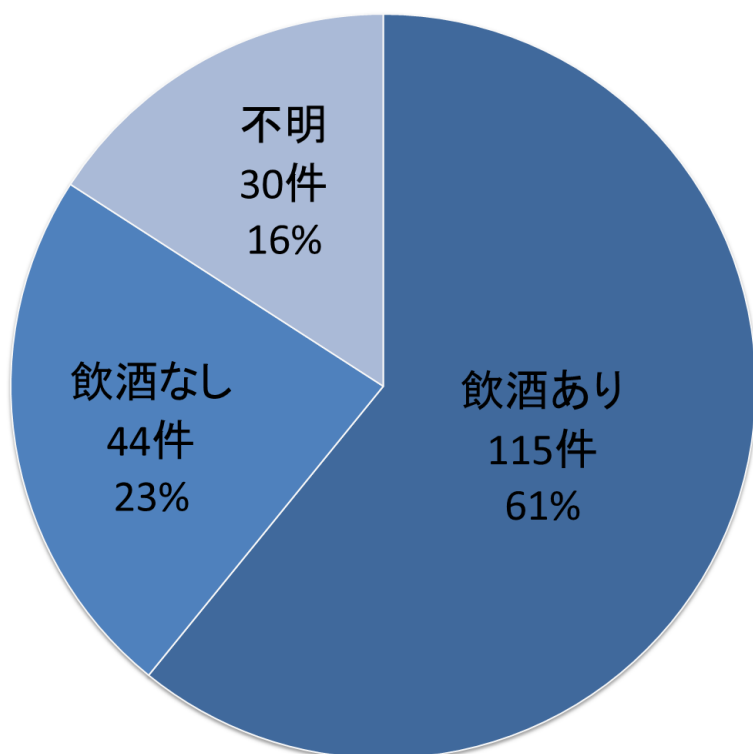


26年度

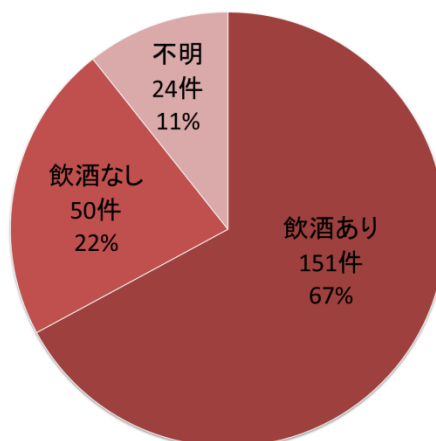


6. 加害者の飲酒状況

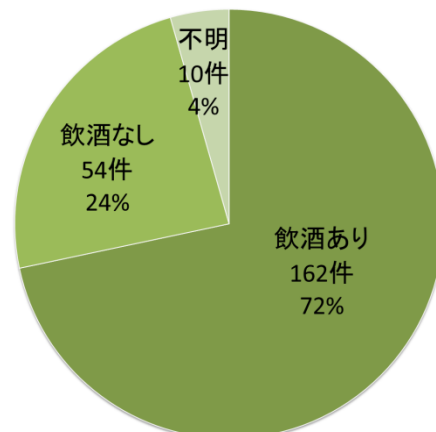
28年度



27年度



26年度



7. 具体的事例

【事例 1】

曜日	金曜日	時間帯	朝（始発～9時）	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	10歳代	飲酒	なし

ホームで痴漢行為を行ったと思われるお客さまが大声を上げていたので、駅係員3名、警備員1名の4名で、お客さまから事情を伺おうとしたところ、駅係員の1名が腹部を蹴られ、もう2名の駅係員も背部を殴打され、負傷した。

【事例 2】

曜日	水曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	20歳代	飲酒	あり

駅係員は、お客さまからホーム上で男女が喧嘩をしているとの申し出を受け、現場へ向かったところ、男性のお客さまが女性のお客さまを投げ飛ばしているのを発見。制止に入った際に男性のお客さまの肘が左眼下を暴打し、負傷した。

【事例 3】

曜日	月曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	不明	飲酒	あり

改札口を突破したお客さまに対し、駅係員2名にて事情を伺っていたところ、お客さまがポケットから小銭を落とされたため、駅係員がそれを拾おうとした際に、右手を足で蹴られ、負傷した。

【事例 4】

曜日	火曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	50歳代	飲酒	あり

お客さまより「エスカレーター付近で人が倒れています。」との申し出を受けたため、駅係員は、現場へ赴き、倒れていたお客様へお声がけし、ベンチにお座りいただいた。その後、駅ホームから別の駅係員を呼ぶためにその場を離れ、再度、お客さまの元へ戻ったところ、いきなり激高され、右胸および右肩を強く押され、負傷した。